

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和 3 年 6 月 1 8 日

（宛先）岡 崎 市 長

提出者

住 所 岡崎市天白町字池田 5 番地

氏 名 朝日工業株式会社

代表取締役 朝日 啓夫

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 0 5 6 4 - 5 1 - 3 6 5 5

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第 9 項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名 称	朝日工業株式会社
事業場の所在 地	岡崎市天白町字池田 5 番地
計画期 間	令和 3 年度（令和 3 年 4 月～令和 4 年 3 月）
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
1 事業の種 類	0 6 : 総合工事業
2 事業の規 模	元請完成工事高 : 3 0 0 , 8 6 9 万円
3 従業員 数	5 6 人

④産業廃棄物の一連の処理の工程	<p>(建設工事)</p> <p>がれき類 → 再生処理業者に委託し、再生砕石として再資源化</p> <p>木くず → 再生処理業者に委託し、チップとして再資源化</p> <p>紙くず → 中間処理業者に委託し、選別・破碎・圧縮し再資源化</p> <p>汚 泥 → 中間処理業者に委託し、分級脱水後、建設資材として再資源化</p> <p>廃プラ類 → 中間処理業者に委託し、選別後 RPF 燃料として再資源化又は埋立て</p> <p style="text-align: center;">処分</p> <p>金属くず → 中間処理業者に委託し、選別・破碎の上再資源化</p> <p>ガラス・陶磁器くず → 再生処理業者に委託し、破碎後原料として再資源化及び埋立処分</p> <p style="text-align: center;">埋立処分</p> <p>混合物 → 中間処理業者に委託し、選別後再資源化又は埋立処分</p>
-----------------	---

(日本工業規格 A列4番)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項					
<p>(管理体制図)</p> <p>総務・管理部 部長 (廃棄物処理統括責任者)</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>総務・管理部 (廃棄物管理責任者) 《マニフェスト集計管理など》</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>工事現場責任者 (廃棄物処理責任者)</p> <p style="text-align: center;">《各工事現場での廃棄物処理計画の作成、マニフェスト発行・管理など》</p>					
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項					
①現状	<b>【前年度 (令和2年度) 実績】</b>				
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	紙くず	汚泥
	排 出 量	6,910.55t	81.98 t	0 t	328.98 t
	産 業 廃 棄 物 の 種 類	廃プラ類	金属くず	ガラス・陶磁器くず	混合廃棄物
	排 出 量	19.69 t	0.07 t	4.97 t	35.03 t
<p>(これまでに実施した取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・簡易梱包、無梱包等、梱包材(プラスチック、木枠、紙類)は簡素化分別を奨め、再利用可能な物は再利用する</li> <li>・廃棄物の排出抑制及び適正な処理の周知徹底をする</li> </ul>					
<b>【目標】</b>					
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	紙くず	汚泥

②計画	排出量	10,000 t	100 t	2 t	100 t
	産業廃棄物の種類	廃プラ類	金属くず	ガラス・陶磁器くず	混合廃棄物
	排出量	50 t	5 t	50 t	50 t
	(今後実施する予定の取組) ・現状実施事項に準ずる				

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・事務所、現場共 1t 土のう袋にて廃プラ、廃木材、金属屑を分別している ・がれきについては、所定の一次仮置場に集積している
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・がれきの仮置場は法改正に伴い法を遵守する ・工事着手前の施工検討会にて、分別する廃棄物について検討する

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

1 現状	【前年度（令和2年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t
	(これまでに実施した取組)  未実施	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t
	(今後実施する予定の取組)  実施予定なし	

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

1 現状	【前年度（令和2年度）実績】
------	----------------

	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
	未実施		
②計画	<b>【目標】</b>		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
実施予定なし			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
1 現状	<b>【前年度（令和2年度）実績】</b>		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
未実施			
②計画	<b>【目標】</b>		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t

		(今後実施する予定の取組)  実施予定なし
--	--	-----------------------------

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
1 現状	【前年度（令和2年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	全処理委託量	6,910.55 t	81.98 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	412.92 t	2.59 t
	再生利用者への 処理委託量	6,910.55 t	81.98 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組） 再利用・・・資源化を推進する 中間処理・・・脱水効率の向上等による中間処理を推進する その他・・・処理内容を確認し、処理業者と適正な委託契約を締結する ・がれき類・・・リサイクル材として再利用が出来る委託業者に処理を委託している ・木くず・・・燃料及びリサイクル材として再利用が出来る委託業者に処理を委託している		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	全処理委託量	10,000 t	100 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	0 t
	再生利用者への 処理委託量	10,000 t	100 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱 回収を行う業者への処 理委託量	0 t	0 t

		<p>(今後実施する予定の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現状と同じで発生した産業廃棄物は自ら処理委託することを原則とし、処理業者に委託する場合でも収集運搬から処分に至るまで確認し的確に管理する</li> <li>・可能な限り優良認定業者から選定する</li> </ul>		
※事務処理欄				
産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
1 現状	【前年度（令和2年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	紙くず	汚泥	
	全処理委託量	0 t	328.98 t	
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	321.88 t	
	再生利用者への処理委託量	0 t	328.98 t	
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	
	<p>(これまでに実施した取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・紙くず・・・選別・破砕・圧縮し再資源化出来る委託業者に処理を委託している</li> <li>・汚泥・・・分級・脱水で建設材料へ再利用出来る委託業者に処理を委託している</li> </ul>			
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	紙くず	汚泥	
	全処理委託量	2 t	100 t	
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	80 t	
	再生利用者への処理委託量	2 t	100 t	

	<table border="1"> <tr> <td>認定熱回収業者への 処理委託量</td> <td>0 t</td> <td>0 t</td> </tr> <tr> <td>認定熱回収業者以外の熱 回収を行う業者への処 理委託量</td> <td>0 t</td> <td>0 t</td> </tr> </table>	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t	認定熱回収業者以外の熱 回収を行う業者への処 理委託量	0 t	0 t												
認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t																	
認定熱回収業者以外の熱 回収を行う業者への処 理委託量	0 t	0 t																	
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現状と同じで発生した産業廃棄物は自ら処理委託することを原則とし、 処理業者に委託する場合でも収集運搬から処分に至るまで確認し的確に 管理する</li> <li>・可能な限り優良認定業者から選定する</li> </ul>																		
※事務処理欄																			
産業廃棄物の処理の委託に関する事項																			
1 現状	<b>【前年度（令和2年度）実績】</b>																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>産業廃棄物の種類</th> <th>廃プラスチック類</th> <th>金属くず</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全処理委託量</td> <td>19.69 t</td> <td>0.07 t</td> </tr> <tr> <td>優良認定処理業者へ の 処理委託量</td> <td>7.91 t</td> <td>0.07 t</td> </tr> <tr> <td>再生利用業者へ の 処理委託量</td> <td>19.69 t</td> <td>0.07 t</td> </tr> <tr> <td>認定熱回収業者へ の処理委託量</td> <td>0 t</td> <td>0 t</td> </tr> <tr> <td>認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量</td> <td>0 t</td> <td>0 t</td> </tr> </tbody> </table>	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず	全処理委託量	19.69 t	0.07 t	優良認定処理業者へ の 処理委託量	7.91 t	0.07 t	再生利用業者へ の 処理委託量	19.69 t	0.07 t	認定熱回収業者へ の処理委託量	0 t	0 t	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず																
	全処理委託量	19.69 t	0.07 t																
	優良認定処理業者へ の 処理委託量	7.91 t	0.07 t																
	再生利用業者へ の 処理委託量	19.69 t	0.07 t																
	認定熱回収業者へ の処理委託量	0 t	0 t																
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	0 t	0 t																
<p>(これまでに実施した取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・廃プラスチック類・・・燃料として再利用が出来る委託業者に処理を委託 している</li> <li>・金属くず・・・溶融後再利用出来る委託業者に処理を委託している</li> </ul>																			
②計画	<b>【目標】</b>																		



	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず
	全処理委託量	50 t	5 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	50 t	5 t
	再生利用者への 処理委託量	50 t	5 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱 回収を行う業者への処 理委託量	0 t	0 t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現状と同じで発生した産業廃棄物は自ら処理委託することを原則とし、 処理業者に委託する場合でも収集運搬から処分に至るまで確認し的確に 管理する</li> <li>・可能な限り優良認定業者から選定する</li> </ul>		
※事務処理欄			
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
1 現状	【前年度（令和2年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	混合廃棄物
	全処理委託量	4.97 t	35.03 t
	優良認定処理業者へ の 処理委託量	0 t	29.41 t
	再生利用者へ の 処理委託量	4.97 t	35.03 t
	認定熱回収業者へ の処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	0 t	0 t

		<p>(これまでに実施した取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・混合廃棄物・・・選別後、再資源化出来る委託業者に処理を委託している</li> </ul>		
②計画	<b>【目標】</b>			
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	混合廃棄物	
	全処理委託量	50 t	50 t	
	優良認定処理業者への 処理委託量	50 t	50 t	
	再生利用業者への 処理委託量	50 t	50 t	
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t	
	認定熱回収業者以外の熱 回収を行う業者への処 理委託量	0 t	0 t	
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現状と同じで発生した産業廃棄物は自ら処理委託することを原則とし、処理業者に委託する場合でも収集運搬から処分に至るまで確認し的確に管理する</li> <li>・可能な限り優良認定業者から選定する</li> </ul>			
※事務処理欄				

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

